

# ふじみ野

市議会だより

No.30

H25.8.1 発行

## CONTENTS

上野台放課後児童クラブを学校敷地内に移設 2p

散策に来てみませんか 市民憩の森条例 3p

第2回定例会議案審議

亀久保小学校・三角小学校大規模改造工事 4p

第1回臨時会議案審議

市民と意見交換 議会報告会 5p

一般質問 16人が政策論議 6p

Proud!

東日本大震災の復興を支援しよう

Japan



### 働く人シリーズ⑨ 障がい者就労支援施設

今日も一生懸命にパンを売る。早出の仲間たちが焼き上げたパンだ。「おいしいですよ。」思いっきりの笑顔と、感謝を込めて、丁寧に。このパンの販売が私たちの仕事だ。

5/31  
6/14

平成25年第2回(6月)定例会は、平成25年度一般会計補正予算、市民憩の森条例ほか25件の議案、請願1件が審議されました。  
特に補正予算では、市役所本庁舎の整備事業、新上福

岡学校給食センター整備事業などで建築資材費が高騰した影響で予算の増額を余儀なくされたもの、さらに上野台放課後児童クラブ、高齢者福祉施設整備支援事業などに審議が集中しました。

# 議案審議

本会議・各常任委員会での質疑・討論をまとめています。

**補正予算**  
全員賛成で可決

## 上野台放課後児童クラブを学校敷地内に移設

**放課後児童クラブ整備事業**  
補正額 630万円



現在、学校敷地外に設置されている上野台放課後児童クラブを学校敷地内に移設するため、測量及び設計委託料として630万円の補正予算が提案されました。学校敷地内に移設することにより、児童の安全確保が期待されます。児童クラブの運営規模に関することや、移設に伴い伐採する緑の保全などの質疑が交わされました。

**●主な質疑**  
**問** 移転するまでのスケジュールは。  
**答** 今年度中に測量と設計を行い、来年度内の完成を目指す。  
**問** 計画している児童クラブの運営規模は。  
**答** 現在の登録児童数は73名だが、今後の上野台小学校の児童数の増加を見込み、100名程度の規模で計画している。  
**問** 学校敷地内の建設予定地の樹木を伐採するのであれば、緑を保全するために補植をするべきではないか。  
**答** 敷地の状況から、建設予定地の樹木はほとんど伐採せざるを得ないが、緑の保全については検討していきたい。

**補正予算**  
全員賛成で可決

**道路橋りょう新設改良事業**  
補正額 1億3816万円

## ヤマハ工場南側に歩道を整備

ヤマハ株式会社工場前から大井図書館前の市道第5-36号線に、幅員3メートル、延伸180メートルの歩道を新設します。この歩道整備に伴う用地取得等の費用として組まれた補正予算、1億3816万円について審議しました。

**●主な質疑**  
**問** 本事業の今後の具体的なスケジュールは。  
**答** 用地購入については、今後ヤマハ株式会社及び他の地権者の方との交渉を進めていく。本格的な歩道の築造工事は、来年度から防災安全交付金を活用して行う計画である。  
**問** 道路の向かい側の「市民憩の森」の設置が必要ではないか。  
**答** 横断歩道の設置は公安委員会の所管であるが、今後協議していきたい。

**条例制定**  
全員賛成で可決

**市民憩の森条例**

## 散策に来てみませんか

大井図書館前の聖路加国際病院敷地1万2千㎡の雑木林が、市民憩の森として利用できるようになります。午前8時30分から午後5時まで開園し、散策やキャンプ、グラウンド・ゴルフなど多彩な野外活動ができます。この施設の料金設定や利用方法について、多角的な審議がなされました。

**●主な質疑**  
**問** 利用受付は本庁舎の生涯学習課のみということか。  
**答** 安全管理や利用について説明するので、当面、市役所本庁舎でのみ受付をする。  
**問** 利用対象は成人の責任者を置く団体となっているが、その根拠は。  
**答** 野外活動広場レクリエーション広場は許可が必要で、火気を利用するなど安全管理のため、成人の責任者が必要になる。  
**問** どのような場合に有料となるのか。  
**答** 従来の野外活動広場を引き継ぐ部分では、青少年の自然体験、グラウンド・ゴルフなど一定の目的を持った使い方をしている場



所で有料となるが、一日門扉を開放して、散策ゾーンでの散歩などは自由である。野外活動の利用者がいないときなども、そちらの散策は認める方針である。  
◆議案に対する会派代表総括質疑  
誠風会 山田 敏夫議員  
信政会 鈴木啓太郎議員  
公明党 田村 法子議員  
日本共産党 足立志津子議員

# 議会新人事



議長 有山 茂  
副議長 田村 法子

就任に当たりまして一言ごあいさつを申し上げます。  
去る、5月31日の定例会におきまして、私どもが議長・副議長に就任いたしました。身に余る光栄と同時に、その責務の重大さを痛感しております。  
私たち市議会は、議会の機能を十分発揮し、市民の皆様の信頼と期待に応えられる議会運営に全力で邁進してまいります。  
市民の皆様の、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎委員長 ○副委員長

### 総務常任委員会

- ◎小高 時男 ○西 和彦  
小林 憲人 有山 茂  
田村 法子 新井 光男  
五十嵐正明

### 市民・都市常任委員会

- ◎岸川 彌生 ○島田 典朗  
鈴木啓太郎 山田 敏夫  
福村 光泰 伊藤美枝子  
足立志津子

### 福祉・教育常任委員会

- ◎堀口 修一 ○仙田 定  
大築 守 民部 佳代  
伊藤 初美 塚越 洋一

### 議会運営委員会

- ◎大築 守 ○山田 敏夫  
西 和彦 堀口 修一  
伊藤美枝子 五十嵐正明  
塚越 洋一

※議会広報常任委員会は裏表紙をご覧ください。

### 提出議案と審議結果

- ◎平成25年度補正予算  
◎一般会計(第3号)

- ◎条例の制定
- ◎行財政改革推進委員会条例
- ◎行政評価外部評価委員会条例
- ◎一般廃棄物処理基本計画市民検討委員会条例
- ◎広域ごみ処理施設等検討委員会条例
- ◎地域福祉計画審議会条例
- ◎保育所入所児童選考委員会条例
- ◎予防接種健康被害調査委員会条例
- ◎障害児就学支援委員会条例
- ◎市民憩の森条例

- ◎条例の一部改正
- ◎特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例
- ◎災害派遣手当等の支給に関する条例
- ◎市税条例
- ◎都市計画税条例
- ◎都計画税条例
- ◎国民健康保険条例
- ◎後期高齢者医療に関する条例

- ◎人事
- ◎人権擁護委員の候補者の推薦
- ◎財産の取得
- ◎大井総合支所複合施設建設工事請負変更契約の締結
- ◎入間東部地区消防組合の規約変更
- ◎道路線の認定(4件)

- ◎請願
- ◎年金2.5%の削減中止を求める請願
- ◎動議
- ◎足立志津子議員の一般質問における発言に対し、猛省と不適切な発言の取り消しを求める動議

可決

不採択

# 子どもたちの生活と 学びの場の安全確保を早急に



大規模改造が行われる亀久保小学校

第1回臨時会では、公共工事の労務単価引き上げに伴う工事関係予算の補正、旧大井清掃センター解体・土壌改良工事請負契約の締結などが審議されました。また、早急な措置が必要な大人の風しん予防接種に対する助成事業や小学校大規模改造工事請負契約の締結が議案に追加され、全9議案が可決されました。

## 大規模改造工事請負契約の締結 亀久保小学校… 3億 8076万円 三角小学校… 4億 234万円

### 請負契約締結

全員賛成で可決

平成24年度に設計が完了し、平成26年12月までの予定で工事が行われます。主な工事は外壁・床・天井・壁・トイレ・電気設備で、防災井戸も設置されます。夏季休業中に工事が集中するため、早期契約できるように提案されました。

#### ●主な質疑

**問** 設計金額と落札金額に差があるが、工事への影響はなにか。

**答** 入札後の事後審査でチェックしている。

#### ●主な意見

**賛成** 資材高騰の情勢の中で、少しでも早く発注ができることを評価する。

**賛成** 現場に無理のからなないように監督すべき。

## 提出議案と審議結果

◎全員賛成 ○賛成多数 ・否決

### … 専決処分の承認 ……

- ◎固定資産評価員の選任
- ◎市税条例の一部改正
- ◎都市計画法条例の一部改正
- ◎国民健康保険税条例の一部改正
- ◎平成25年度一般会計補正予算(第1号)

以上、承認

### … 平成25年度補正予算 ……

- ◎一般会計(第2号)

### … 請負契約の締結 ……

- ◎(旧)大井清掃センター解体・土壌改良工事
- ◎亀久保小学校校舎大規模改造工事
- ◎三角小学校校舎大規模改造工事

以上、可決

## 滝保育所耐震補強等 2225万円 放課後児童クラブ整備 909万円

### 補正予算

全員賛成で可決

滝保育所の耐震補強及び改修工事、さぎの森小学校と元福小学校の放課後児童クラブ建設工事費用の増額補正が審議されました。子どもたちの生活の場として完成を遅らせることはできないため、この時期の補正となりました。

#### ●主な質疑

**問** 滝保育所の4月の入札が不調だった原因は。

**答** 鉄骨を多く使用する工事で、鉄骨資材の高騰と鉄骨加工職人の不足が大きな要因。

#### ●主な意見

**賛成** 労務単価の引き上げ分が、末端の下請け建設労働者に対して、適正に支払われるよう積極的な指導を望む。

**問** 4月に国の公共工事の設計労務単価の改正が行われた。国土交通省からの通達の内容は。

**答** 技能労働者への適切な賃金水準の確保と、公共工事設計労務単価(※)についての通達。県平均で約17%上昇している。

※公共工事設計労務単価 国土交通省が定める労働者に支払われる賃金額の基準。

# 議会報告会を開催

ふじみ野市立  
サービスセンター  
ホール

より市民に身近で開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しました。平成24年1月14日に続き、今回が2回目の開催となりました。当日は、あいにくの雨天ではありましたが、49名の方々に参加いただきました。

まず、第1部として、議会運営委員会が議会の仕組みについて説明した後、総務常任委員会、市民・都市常任委員会、福祉・教育常任委員会が平成25年第1回定例

会における審査内容について、スライドを交えながら報告しました。報告の後には、報告内容に関する質疑応答も行われました。

休憩を挟んだ後、第2部として、市政全般について参加者との意見交換を行いました。

限られた時間ではありましたが、参加者、議員の双方から市政に関し活発な意見が交わされました。

## ●意見交換

**参加者** 今後のまちづくりに必要なことは。

**議員** 地域ブランドの育成や双方向性のある情報発信。

**議員** 若い世代にふじみ野市に住んでもらう戦略。

**議員** 教育環境や防犯対策など、安心して子育てができるまちづくり。

**議員** 待機児童の解消や放課後児童クラブの拡充など、質の高いサービスの提供。

**参加者** インターンシップを行ってみては。

**議員** 一議員として、今春、大学生を2名迎え入れた。その経験を学生が生かし、大学で研究発表したと聞いている。



**参加者** ネット選挙で話題に出るような取り組みを。

**議員** ネット選挙については、メリット・デメリットがあるが、情報の発信を大きくするものとする。また、若い世代により深く政治に興味を持ってもらう材料になると考えるので、研究していく。



## ●その他の意見

- ・夜間の防災訓練を行ってほしい。
- ・自然環境を大切にしている取り組みを。
- ・大井清掃センター跡地に屋根や駐車場の設置を。
- ・総合福祉センターの利用者に受益者負担を。
- ・議員報酬や政務活動費が少ないのでは。



- ・厳しい意見が向けられることも予想される中、市民と向き合う姿勢に好感を持った。
- ・「市議会だより」と同じ内容でも、議員の生の声を聞くことで理解が深まった。
- ・傍聴する時間がとれない人には効果的だと思う。
- ・数字などは口頭のみでの報告ではなく、配布資料にも記載してほしい。
- ・時間に制限があるので、事前に議事録の公開があるといい。聞く側も予習しないといけないかもしれない。
- ・議員でプロジェクトチームをつくり、まちづくりの提案などをしてほしい。

●市議会の議事録はホームページ上で公開しています。

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。今回の議会では、16人の議員が一般質問を行いました。掲載した内容は各議員本人が要約したものです。なお、全ての質問と回答は市議会ホームページの会議録で閲覧できます。(8月下旬掲載予定)

まちの今後

総合政策

今後の市政運営は

小高時男議員

問 本市はさまざまな改革と政策実現に向け、まちづくりに取り組んできた。その市政運営の成果は多くの市民も認めているとお聞きしているが、今後その声にどのように応えるのか。

答 特に、子育てや教育及び高齢者等各種施策に取り組んできた。また、一向に整備が進まなかった上福岡駅東口駅前広場も、暫定整備から本整備に向け取り組んでいる。

さらに、財政基盤の強化と合併の恩恵を生かした市政運営を進めて

きた。今後も、子ども優先の政策を継続し、現役世代の人口を増やすことにより、高齢者を支えていける持続可能なまちの実現に向け、改革と実行のスピードは緩めない。

「選ばれるまち日本一」を目指し、市民がひとつの家族のような「あつたかいふじみ野市」をつくりあげる。

憲法を暮らしに生かす市政とは

憲法を暮らしに生かす市政とは

塚越洋一議員

問 憲法第9条、第25条について、どのように市政に反映しているのか。

答 行政運営は、憲法に基づき行うものである。憲法第9条については、

今年度の平和事業を公募市民による実行委員会で行い、次世代の子どもたちへも引き継いでいくよう展開する。

憲法第25条については、国民健康保険の保険給付を受ける機会を制限しないようにしている。市税の滞納処分では、差し押さえは納税相談を行い、財産や生活状況をよく調査してから執行している。生活保護については、申請を制限しないよう、職員への指導を徹底する。

男女共同参画プラン

民部佳代議員

問 市職員の管理職、審議会委員等の女性の割合を高めるための課題は何か。

答 出産などの節目がある、知識や経験を積み機会が十分ではない、ロールモデル(※)の不足などさまざまな原因があり、いかにキャリア形成を図るかが課題。審議会では、推薦団体に女性の被推薦者が少ないなどの問題がある。

活力あるまち

まちづくり

利用しやすい市内循環バスに

伊藤美枝子議員

問 3月31日をもって東武バスのふじみ野駅東口から上福岡駅東口までの路線が廃止され、利用者が大変困っている。今後ますます高齢者人口も増え、自転車や自家用車に代わる移動手段が必要となる。公共交通が空白となつていく地域の問題も含め、対策が必要では。

答 バスの利用が不便な地域もあり、その解消も見直しの目標とする。アンケート結果をもとに地域ごとのニーズや状況に即したものと、将来的に持続可能なシステムを構築したい。

市内循環バス運行の拡充

足立志津子議員

問 循環バスは交通権を保障する政策だ。運行見直しには、住民の交通利便性向上や増便が必要。財政的見通しは。

答 持続可能な方策を具体化した。また、観光を楽しめるまちに向けて

観光を楽しめるまちに向けて

小林憲人議員

問 福岡河岸記念館に年間バスポートの導入を。リピーターを増や

答 リピーターを増や

職員配置の考え方は

西和彦議員

問 職員の配置については、市民サービスに関係するが、各部署の業務量に応じた人員の配置はどのようになっているのか。

答 各部署の現状及び懸案事項の把握や権限移譲による事務量の増加と指定管理者制度、窓口業務委託の導入等を勘案し、職員の配置をしている。

消費税増税による影響

新井光男議員

問 8%から10%に増税

答 自治体への寄付が税額控除されるふるさと納税が定着してきた。寄付者に特産品を贈る自治体もあり、自治体を選んで寄付する納税者もいる。市でも特産品でふるさと納税を促進できないか。

民部佳代議員

問 自治体への寄付が税額控除されるふるさと納税が定着してきた。寄付者に特産品を贈る自治体もあり、自治体を選んで寄付する納税者もいる。市でも特産品でふるさと納税を促進できないか。

答 効果には賛否両論があり、市では行っていない。今後研究していく。

新鮮な地元野菜を広めるために

島田典朗議員

問 市役所本庁舎前で行っている地元野菜の直売「採れたてふじみ野畑」の今後の展開は。

答 大井総合支所においても、8月の開所以降、毎月1回の開催を考えている。

問 大井総合支所の開所セレモニーでの開催は。

答 今後開催していくに当たりよい機会であると考えており、8月

一般質問



旧大井保健センター

公共施設予約システムの改善

伊藤初美議員

問 パソコンの苦手な

答 市全体の公共施設のあり方とあわせて検討する必要がある。周辺住民だけの意見ではなく、公共的団体等の要望も考慮しながら進める。



明治の風薫る福岡河岸記念館

※ロールモデル 具体的な行動技術や行動事例が模倣・学習の対象となる人材。



市役所本庁舎前で行われている「採れたてふじみ野畑」

11日予定のセレモニーにあわせて準備を進めたい。

ハウレンソウなど市の特産品に

新井光男議員

農林振興センターなどと協力して特産品にできないか。

ハウレンソウの「菜色美人」が、地域のブランドとして成長している。生産者の拡大を図り、

市内での販売網を確立するとともに、特産品としての地位を確立していきたい。

ホンダ学園・文京学院大学との連携

民部佳代議員

市内に寮を持つホンダ学園、文京学院大学には毎年多くの学生が市に転入する。彼・彼女らは、全国に本市をPRする人材になり得る。学生との

連携の実績は。答 学校法人文京学園とは「連携協力に関する包括協定」を締結し、交流が促進されてきた。ホンダ学園に対しても、今後連携を進めていきたい。

原発ゼロについての見解

足立志津子議員

原発ゼロについての見解は。答 安全神話のもとに進められた原子力政策から、再生可能エネルギーへシフトしていくことが好ましい。

特定目的借上公共賃貸住宅の継続を

足立志津子議員

平成29年度で契約期間が終わる霞ヶ丘団地の特定目的借上公共賃貸住宅の継続は。答 居住者には、安心して住み続けられるよう配慮していく。

現在89戸の市営住宅を増設する考えは。答 増設の考えはない。

総合防災訓練の概要

山田敏夫議員

8月25日実施予定の総合防災訓練の概要は。答 地域防災拠点（避難所）と災害対策本部との情報の迅速性、正確性を高めるためにIP電話を導入する。また、今回は夏の暑さ対策として、参加者に水筒の持参をお願いし、「大井戸天然水（仮称）」の配布などを予定している。

避難所の区切りを見直しては

伊藤初美議員

国道を挟んでの避難所の区切りは、見直しが必要ではないか。答 県の地震被害想定を発表が今年度中にある。地域防災計画の全面的な見直しが必要になるので、避難所の区切りも見直していきたい。

地域防災計画の活用と周知は

西 和彦議員

一部を修正した地域防災計画の活用及び市民への周知については。答 主な修正点としては、「帰宅困難者への対策」「情報連絡体制の整備」「災害時要援護者支援体制の整備」「放射性

住宅密集地の災害対策を

岸川彌生議員

北野、大原、上福岡一丁目などの住宅密集地では、小中学校等に避難する際に、一時的に地

狭い住宅地での消火活動

島田典朗議員

水道管の排水栓は狭い住宅地にあることから、消火活動に活用しては。答 排水栓は、汚れや空気を抜くため等に用いるもので、消火ホースを取りつけるには改修が必要。東京都の実施事例を参考に検討する。

交通安全日本一宣言を掲げた取り組みを。答 この3年間で5名の尊い命が、交通事故により失われてきた。「交通安全日本一宣言」については、今後3カ年で進める「ゾーン30」(\*)の

交通事故の撲滅を

仙田 定議員

認知度や営業時間等、利便性が高いと考えるが、従業員の教育等の課題もあるので今後検討していく。

AEDの設置拡大を目指して

島田典朗議員

コンビ二へのAED設置は。答 認知度や営業時間等、利便性が高いと考えるが、従業員の教育等の課題もあるので今後検討していく。

防犯カメラの設置を

小高時男議員

犯罪抑止のために、抑止効果の高い防犯カメラ設置を。答 治安を維持する上で有効なので、今後調査検討を進める。

自然豊かなまちに

緑地を再生・保全する方策は

鈴木啓太郎議員

開発行為などで減少する緑地を再生、あるいは移植などの方法を用いて保全する方策は考えられないか。答 開発行為に対しては事前協議や、みどりの条例に基づく届け出など保全指導に努めている。今後さらに、土地所有者の利用法を考慮した市民緑地制度などの新たな手法の導入、植え替えへの支援などを検討する。

遊歩道の整備計画

堀口修一議員

遊歩道を整備していくことは、健康増進策として、また、緑あふれる都市整備策として重要。市内全体をめぐる遊歩道の整備計画は。答 公園や緑道等の確保は防災の上でも重要であり、市の風土を代表する景観を結び一体性を確保するためにも必要。適切な配置計画を策定するために検討を進めていきたい。

大井弁天の森の保全について

西 和彦議員

土地所有者への意向

環境

日本無線跡地の樹木保存と歩道拡幅

山田敏夫議員

日本無線株式会社から撤退した後の敷地内の樹木の保存や、県道さいたま・ふじみ野・所沢線

樹木の適切な維持管理を

山田敏夫議員

福岡中央公園の桜福岡中学校の赤松を適切に維持管理することについては。答 樹木診断等を行い、景観の上からも良好な環境をつくらしていきたい。

新河岸川の水質浄化を

山田敏夫議員

新河岸川の水質の浄化などをどう進めていくのか。答 市独自の水質調査では、環境基準をクリアしている。さらにボランティア団体などと協働して、河川美化活動をしていきたい。



緑豊かな大井弁天の森

くらしの安全

安全対策

※ゾーン30 通学路や生活道路の密集区域を歩行者優先のゾーンに指定し、車の最高速度を時速30キロに制限する交通規制。

ごみ減量化の促進

仙田 定議員

問 生ごみ処理容器「ペランダ de キエロ」を全戸配布する考えは。

答 使えば使うほどに費用対効果上がる試算結果からも、ごみ減量化には有効な手段である。一気に全戸配布することは、アフターケアなどの課題もあるが、その実現に向けて進めていきたい。

猫のトラブルを避けるために

伊藤美枝子議員

問 野良猫の苦情はどの地域でも起こりうる問題。飼い猫も含め近隣トラブルを避けるために、猫の飼い方ガイドラインの作成が必要では。

答 地域の方々との関わり方などを含め、本市の適正飼養ガイドラインを策定する。

野良猫の不妊手術などに一部助成を

伊藤美枝子議員

小型家電リサイクル法の普及推進

島田典朗議員

問 携帯電話等、回収されにくい使用済み小型電子機器等の回収率向上を目指し、公共施設等に回収ボックスを設置しては。

答 回収ボックスは環境省の実証事業の支援対象になつていて、対象品目や設置場所等の検討を進めていく。

思いやりあるまちへ

福祉

実効性ある地域福祉活動計画に

鈴木啓太郎議員

問 市社会福祉協議会の地域福祉活動計画ができた。市の地域福祉計画と連携していただけるのか。

答 市社会福祉協議会の計画は、理念・方向性・課題を市の計画と共有しており、連携して推進していく。また、新規重点施策の一つとして福祉の総合相談窓口の設置実現に向け、課題の洗い出しや解決策の検討などに取り組む。

障がい者就労支援策の取り組みは

鈴木啓太郎議員

問 障がい者就労支援策の一つに優先調達法が成立した。市の取り組みは。

答 発注可能な品物やサービスを市の関係部署に周知し、調達方針を定め、障がい者関係団体に販売促進の研究を促すなど、お互いの努力により法の趣旨を具体化する。

高齢者が元気なまちへ

小林憲人議員

問 介護支援に関わるボランティアを行った高齢者に対し、活動に応じてポイントを付与して実質的な介護保険料の

市独自の引きこもり対策を

田村法子議員

問 引きこもりの人数は。

答 把握していない。引きこもりは、いわば、福祉政策のはざまにある問題。年齢も30代

心肺蘇生法の教育

仙田 定議員

問 AED練習用機材を使った教育を。

答 中学校では心肺蘇生法や、AEDに関する授業を行っているが、今後は練習用機材を取り入れた体験的な教育手法を進めていきたい。

授業の週6日制の復活

田村法子議員

問 土曜日の子どもの過ごし方に心配の声を聞くと同時に、土曜日授業を望む保護者もいる。現場教師の意見を十分に聞きながら検討をすることが大切。復活について市の見解は。

答 子どもたちの教育にとつて何が大切かを見極め、今年度は校長会と連携し検討していく。

新上福岡給食センター調理は直営で

足立志津子議員

問 市の要求水準書に基づいて、周知・啓発を図っていく。

超え、40、50代となれば、生活困窮となることも考えられる。福祉の先行投資の考えからも、手を打つ必要があると考え、これを解決するためにも、福祉の総合相談窓口の設置はできないか。

「攻め」の子育て支援策を

塚越洋一議員

問 待機児童ゼロ、病後児保育、ベビーシッター制度など、「攻め」の子育て支援策で、子育て世代から選ばれる市に。

答 保育所定員の拡大や、新たな建設計画を視野に入れて検討。病児・病後児保育施設開設の可能性も検討する。居宅訪問型保育、小規模保育等も検討したい。

づいて業者がつくる仕様書で、給食の高い質が守れるのか。

答 要求水準書は、手づくり給食を前提としている。

問 民営化によって、調理員は違法状態にならないのか。

答 直接、調理員に指示しないので、違法性はない。

動物虐待は犯罪

堀口修一議員

問 動物を虐待する人がいる一方で、何とか救いたいと願う方がおり、その思いに少しでも応えていくべき。「動物虐待は犯罪」という啓発を。

答 毎年9月20日から1週間を「動物愛護週間」と定めており、県では同時期の10日間を「愛護動物の遺棄等虐待防止週間」とし、動物の虐待防止を呼びかけている。市としても虐待防止について、周知・啓発を図っていく。

人を育てる

教育

子ども子育て新システムの課題

伊藤初美議員

問 地域型保育事業に対しては、自治体独自の基

準を設定することになる。本市としての考え方は。

答 今年度、保育ニーズ調査を行い、市独自の施策は「子ども・子育て支

森の図書館で読書

堀口修一議員

問 大井図書館に隣接す

る林が「市民憩の森」として整備された。図書館との一体的な活用と整備で、特色のある「森の

図書館」として存在感を示せるのではないか。

市民本位の公民館などのあり方

新井光男議員

問 教育機関として役割の大きい公民館及び分館のあり方は。

答 公民館及び分館のあり方について、市公共施設適正配置計画では、コミュニティ施設への移行や複合化の検討が求められている。平成25年度からの計画に基づき、

美術品展示会場の充実と確保

岸川彌生議員

問 文化芸術活動の重要な活動の一つに、美術品の展示がある。展示会場のさらなる充実と確保を。

答 8月に開設予定の大井総合支所及び平成27年度完成予定の市役所本庁舎増築棟に、新たな展示場所としてギャラリーの設置を予定している。また、スポットライトも設置する。

足立志津子議員

問 市の要求水準書に基

表紙の題字を書いてくれた人

葦原中3年 花香 大輝さん

ふじみ野



「野」の文字を書くのが一番大変でした。また、これを書いていて感じたことは、たった4文字なのに、すごく重いということです。

議会だよりは、ふじみ野市のホームページからも閲覧できます。市議会の議事録も見られます。

<http://www.city.fujimino.saitama.jp/>

ふじみ野市議会 をクリック

傍聴をお待ちしています

次の定例会の  
開 会 予 定：8月30日午前9:30～

請願締め切り：8月20日午前10:00

## 編集後記

例年より10日も早く梅雨入りしたにもかかわらず、雨の降らない6月定例会となった。天には天の都合もあるのだろう。こればかりは人間がやきもきしても仕方がない。

会期中には、市長の2期目への出馬表明も行われた。政治は人のなせる業。ふじみ野市のかじ取りを市民はどう評価するだろうか。

議会の人事も本定例会で改選となった。他の常任委員会の委員は入れ替わったが、議会広報常任委員会だけは、また1年間同じメンバーで編集に当たる。紙面で扱う内容も討議を重ね、少しずつ読みやすくなっているのではという自負はある。

委員には、閉会してからの大仕事という意識もあるが、「読んでいるよ」との市民の声が励みになる。ぜひ感想なども寄せたい。

(民部佳代)

### 議会広報常任委員会

委員長	民部 佳代	副委員長	伊藤 初美
委員	小林 憲人	委員	仙田 定
委員	島田 典朗	委員	鈴木啓太郎
委員	堀口 修一		

市議会議員による時候のあいさつ状、寄附行為等は、法律で禁止されております。ご理解をお願いします。

## 福祉・教育常任委員会の 市内視察

- ・新上福岡学校給食センター建設予定地
- ・地域包括支援センターかすみがおか
- ・市民憩の森

6月17日(月)委員会として、新上福岡学校給食センター建設予定地・地域包括支援センターかすみがおか・市民憩の森の3施設を視察しました。

はじめに、新上福岡学校給食センターの建設予定地である、花の木中学校北側の用地を視察。近くを流れる新河岸川水面の海拔5.1mに対して予定地は6.8mにあること、また予定地の中央にある水路を外周に沿って切り直すことなどを確認しました。

次に、地域包括支援センターかすみがおかでは、高齢者に関する最初の相談窓口として周知に努力してきたこと、また多種多様な相談が持ち込まれることなどの説明を受けました。

最後に、「市民憩の森」を視察。

そこに一歩足を踏み入ると、さわやかに吹き渡る風が心地よく、これまで長年保全されてきた身近な自然を実感。市民にとってかけがえのない緑に触れる場として、期待が集まっています。



新上福岡学校給食センター建設予定地



地域包括支援センターかすみがおか



市民憩の森